

Life is beautiful! ～生きるよろこびみ～つけた!!～

感想

映画「1/4の奇跡～本当のことだから～」

「ありのままの自分」を受け入れてくれる人がいたから、強く生きていけると思います。「ひとり1人の個性を見つめて、認めて、共に生きる。」山元さんは、それを実践できていて素晴らしいと思いました。「寄り添う。」っていいですね。

ひとつひとつの言葉が優しくホッとした。

感動しました。ずっと見たかったので、ゆっくり見ることができて良かったです。

改めて、生かされている今を思いました。「あ～」という瞬間がみんなに訪れることを願います。人って必要と感ぜられないと気づきがないと思うので。

雪絵ちゃんのお考え方がよかった。

そのまま大丈夫と言ってもらうと、すごく落ち着きます。

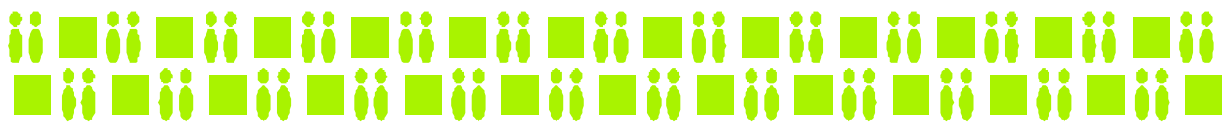
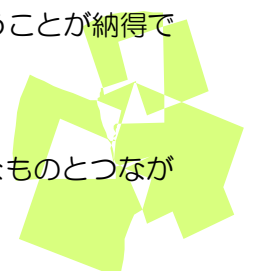
あふれる想いがいっぱいあってひと言では表現できないくらいの感動でした。この映画に出会えたことに感謝です。ありがとうございました。

「子供たちもペルーの人達も、宇宙とつながることが上手なんです。」という言葉が印象に残りました。いろいろなしがらみ等を脱いで、素直な部分だけになると、宇宙のつながりを不思議なこととは思えなくなるのだなと感じます。そうありたいです。

今回で2度目ですが、初回よりも考えることができました。初回よりも家の子も1/4の奇跡の人々の中に入っているのかしら…と思いました。

宇宙の法則や、1/4の障害を持って来てくれた方たちのお陰で、今の自分がある、ということが納得できました。自分のままでいいんですね。

幸せは心の満足度だなあ～と思いました。そして人の命は障害者もみんなと、また色々なものとのつながり支えあって生きている。だから大切な命。そして平等である。改めて思いました。





人ごとでなく、自分のこととして捉えることができました。

5回目だったので寝てしまいました。

命の大切さを教えてもらった。

命の大切さを改めて深く感じることができました。生きていることが既に奇跡って思うと、どんな人も大事。生きていることに感謝。

山元加津子さんや、それぞれのみなさんの生き方に勇気と感動をいっぱいいただきました。

平田初子氏講演会「あなたの中の輝く力」

素敵な先生で、今日出会えたことに感謝します。

いろいろな話を聴いて、「いい」と言われていることの根拠があることも知り、また自分らしくやっていこうと思えた。

どの言葉も暖かく、心がホッとしました。

若い方が受講した方がいいなと思いながら聞いていましたが、また私を通じて伝えていくことにも意味があるのかな？ソフトに接することができるのかなと感じます。

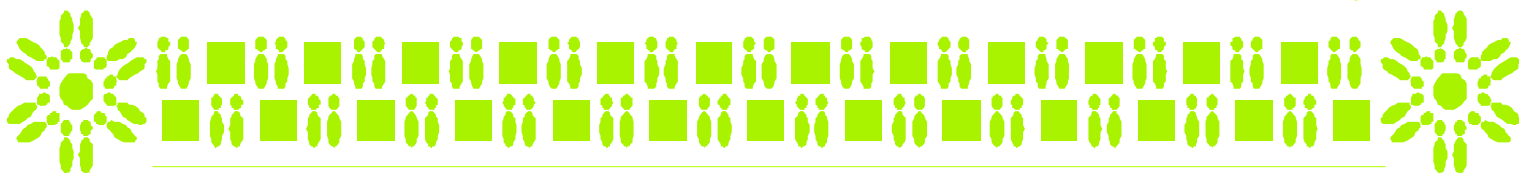
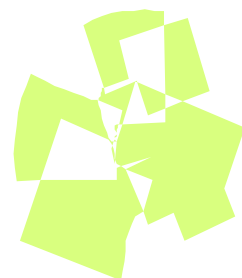
幸せを感じながら生きていきたい。

子供は親を選んで生まれてくるというテーマのお話し。私にも2人子供がいます。生まれた頃のことや状況のことを思い返すと、「なるほど」と強く感じます。確実にこの子らは来るべくして来てくれたんだなと思います。また言葉について。忙しい生活に追われ、きついことを言うてしまうことがあります。感情に振り回されずに、本当に伝えなければならないことを考えて、伝えていきたいと思いました。

リンゴの木でさえ声かけをしてあげないと枯れてしまう。自分の子であれば、愛情次第で変わってくるんだな、と実感。

自分を愛して前向きに生きるように努力したい。

励まされてよかった。





「共有の時間」

人それぞれの意見が聞けて良かったです。

熱心な人の話し、声を聴けた。

グループでの話し合いで、気楽に話すことができて良かったです。

とても楽しい時間でした。少しの時間でも人と出会える。言葉を交わせる。幸せな時間をありがとうございました。

いろいろな立場で愛情をもつこと、大事にしたいと思いました。

やっぱり怒って育てたらダメなのですか？

初めてお会いできた方と同じ気持ちを共有できて、とても嬉しかったです。

出席者の方の意見を聞けて良かったです。

生きてきたこと自体が奇跡。みなさんとの時間最高でした。

あるがままの自分を受け入れたいとみんな同じ思いだった。

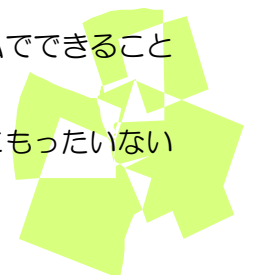
すぐ打ち解けて話げできたのはよかった。

その他

「生きることの素晴らしさ」「命の大切さ」を学ぶことができました。今の日本の子供たちは、世界の子供たちに比べ、「生きることの執着」が薄れていると思います。この映画を小学校や中学校の子供たちに見せていただきたいと思います。そして「命を大切に」して生きてほしいと思います。

私は一応子育ては手が離れましたが、ずっと続いていくのだとハッとします。この世の私でできることができればいいですからね。今日は家族にちょっとだけ優しくできるかも…。

今日の映画、講演を直に聴いて欲しいと思える方の顔が何人も頭に浮かびました。本当にもったいないなあ。私はラッキーだったなあ。少しずつ伝えてみますね。





素敵な企画に参加させていただくことができ良かったです。どうもありがとうございました。

知的障害者に対し自分では訓練すれば何とかできるという意識があり、一緒に働いていて、頑張れ!!とお尻を叩いていましたが、自分の思い通りにはいかない。私もうつ病。頑張ろうと自分にも障害者にも頑張ろう!!と伝えつつもりが…悪かった。

平田先生のお話で、私の所に降りてきた我が子、よい子に育ち時々会いに来てくれる。愛をもった心、大切にしたいと思いました。感性の素晴らしい人々、素晴らしい!

1/4という題の意味が、やっと分かりました。命のつながりを大切にしたいです。

私も雪絵ちゃんと同じ存在でしたが、(家でじっとしていたい。)NPO 法人のみなさんに助けていただき、毎日楽しく過ごしています。障害者であることを悔やんでいましたが、とても気持ちが明るくなりました。

もう少し自身を大切にしていきたいと思いました。

素敵な会でした。出会いに感謝です。

小学生の先生たちに見ていただきたいなあと思いました。

とても貴重な素晴らしい命。学校や地域にも伝えていきたいと思います。

人は当たり前ことができなくても、またその代わりに当たり前の人が持っていないものを持っていたりするので、「平等」。いじめをする人達、この映画を見て何かを感じて欲しいと思います。それにはこの映画をぜひ広めてほしい。

人には自分の能力のなさを、これ以上でも以下でもないと言いながら、自分自身にはいつも不満を持っていました。努力をしないで欲を出していたのだと反省しています。自分を客観視するよいきっかけになったと思います。

この映画はもっともっと多くの人に見てもらいたいですね。

山元加津子さんは障害者の人とのかかわりを通じて、皆に誰に対しても優しく、その人のすべてを受け止めて接している方なんだと感じました。うまく言えませんが、奥が深いとても素敵な女性だと思います。

